

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ 上場取引所 東
 コード番号 6324 URL http://www.hds.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 啓
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画・財務部長 (氏名) 上條 和俊 (TEL) 03-5471-7810
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,886	13.4	3,738	31.4	3,921	34.9	2,472	56.2
25年3月期第3四半期	14,004	△10.4	2,845	△19.4	2,906	△23.9	1,582	△20.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,293百万円(99.8%) 25年3月期第3四半期 2,148百万円(207.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	80.96	—
25年3月期第3四半期	51.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	39,884	29,511	71.1
25年3月期	36,953	25,986	67.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 28,339百万円 25年3月期 24,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	10.00	22.00
26年3月期	—	14.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,400	18.0	4,930	43.5	5,130	43.5	3,200	63.2	104.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	31,583,100株	25年3月期	31,583,100株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,050,687株	25年3月期	1,050,687株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	30,532,413株	25年3月期3Q	30,532,435株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)における当社グループの事業環境は、中国をはじめとする新興諸国では、景気回復のペースは緩やかな状況にとどまったものの、日本及び米国景気が回復傾向を維持したことに加え、夏場以降、欧州圏の景気も持ち直しが見られたことから、総じて堅調に推移しました。

用途別の売上高については、産業用ロボット向けはモバイル機器向けの設備投資があったことから夏場以降増加しましたが、前年同期比では減少しました。一方、半導体製造装置向け、フラットパネル製造装置向けは、半導体デバイスメーカーの微細化投資や中国を中心とした液晶パネル工場の設備投資が堅調であったことから前年同期比で増加しました。また、モーターメーカー向けギアヘッド、石油掘削装置向けにおいても需要が増加し、前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13.4%増の158億86百万円となりました。

損益面につきましては、研究開発費や荷造運搬費などの販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加による増益の影響が上回り、営業利益は前年同期比31.4%増加の37億38百万円となりました。また、経常利益は営業利益の増益に加え、持分法による投資利益が増加したことから、前年同期比34.9%増加の39億21百万円となり、四半期純利益も前年同期比56.2%増加の24億72百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が124億71百万円(前年同期比11.1%増)、メカトロニクス製品が34億15百万円(前年同期比22.9%増)で、売上高比率はそれぞれ、78.5%、21.5%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりです。

(日本)

当期の序盤より半導体製造装置向け、フラットパネルディスプレイ製造装置向けが増加したことに加え、夏場以降、産業用ロボット向けの需要も増加したことにより、売上高は前年同期比13.3%増加の134億79百万円となりました。セグメント利益(経常利益)は、前年同期比29.2%増加の43億68百万円となりました。

(北米)

ドルベースでの売上高は減少したものの、円安の影響を受け、売上高は前年同期比14.1%増加の24億7百万円となりました。セグメント利益(経常利益)は、前年同期比14.6%増加の2億40百万円となりました。

(欧州)

売上高は、ユーロベースでは前年同期比で同水準でしたが、為替が円安・ユーロ高に変化した影響などにより、ドイツ持分法適用関連会社に係る持分法投資利益が増加しました。この結果、セグメント利益(経常利益)は、前年同期比253.2%増加の1億11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9億63百万円増加（前連結会計年度末比5.1%増）し、198億60百万円となりました。これは、現金及び預金が8億94百万円減少（前連結会計年度末比7.5%減）したものの、売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が18億11百万円増加（前連結会計年度末比35.8%増）したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて19億66百万円増加（前連結会計年度末比10.9%増）し、200億23百万円となりました。これは、保有する投資有価証券及び関係会社株式の時価が上昇したことにより投資その他の資産が21億7百万円増加（前連結会計年度末比17.3%増）したことが主な要因です。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて29億30百万円増加（前連結会計年度末比7.9%増）し、398億84百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6億71百万円減少（前連結会計年度末比11.9%減）し、49億70百万円となりました。これは、支払手形及び売掛金が1億36百万円増加（前連結会計年度末比9.1%増）したものの、借入金の約定返済及び一部繰上返済を実行したことにより、1年内返済予定の長期借入金が7億円減少（前連結会計年度末比40.0%減）したことに加え、賞与引当金が1億9百万円減少（前連結会計年度末比20.2%減）したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加（前連結会計年度末比1.4%増）し、54億1百万円となりました。これは、長期借入金が5億11百万円減少（前連結会計年度末比16.2%減）したものの、繰延税金負債が6億80百万円増加（前連結会計年度末比43.8%増）したことが主な要因です。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて5億95百万円減少（前連結会計年度末比5.4%減）し、103億72百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて35億25百万円増加（前連結会計年度末比13.6%増）し、295億11百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額が16億35百万円増加（前連結会計年度末比74.0%増）したことに加え、利益剰余金が17億42百万円増加（前連結会計年度末比9.6%増）したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.5%から71.1%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期業績予想につきましては、平成25年11月12日に発表しました「平成26年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,957,900	11,063,425
受取手形及び売掛金	5,058,012	6,869,878
有価証券	30,647	30,661
商品及び製品	140,875	105,135
仕掛品	491,011	621,257
原材料及び貯蔵品	643,942	663,782
その他	606,202	551,718
貸倒引当金	△31,528	△45,218
流動資産合計	18,897,063	19,860,639
固定資産		
有形固定資産	5,690,814	5,562,537
無形固定資産	152,049	139,133
投資その他の資産		
投資有価証券	461,672	678,055
関係会社株式	11,324,691	13,175,120
その他	770,048	790,442
貸倒引当金	△342,345	△321,734
投資その他の資産合計	12,214,067	14,321,883
固定資産合計	18,056,931	20,023,554
資産合計	36,953,995	39,884,193
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,498,114	1,634,303
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,750,888	1,050,643
未払法人税等	525,208	611,133
賞与引当金	540,718	431,227
役員賞与引当金	73,980	85,497
製品補償損失引当金	65,286	52,303
その他	1,178,183	1,095,363
流動負債合計	5,642,379	4,970,472
固定負債		
長期借入金	3,158,689	2,647,589
リース債務	132,779	92,275
繰延税金負債	1,553,384	2,233,777
役員退職慰労引当金	321,395	302,675
その他の引当金	120,859	77,528
その他	37,938	47,874
固定負債合計	5,325,048	5,401,721
負債合計	10,967,427	10,372,194

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,610,542	1,610,542
資本剰余金	5,203,709	5,203,709
利益剰余金	18,242,282	19,984,766
自己株式	△2,304,883	△2,304,883
株主資本合計	22,751,650	24,494,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,617,408	3,788,879
為替換算調整勘定	△407,913	56,323
その他の包括利益累計額合計	2,209,495	3,845,202
少数株主持分	1,025,421	1,172,661
純資産合計	25,986,567	29,511,999
負債純資産合計	36,953,995	39,884,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	14,004,788	15,886,747
売上原価	8,151,300	8,848,830
売上総利益	5,853,487	7,037,917
販売費及び一般管理費	3,008,399	3,299,254
営業利益	2,845,088	3,738,663
営業外収益		
受取利息	11,478	4,346
受取配当金	115,028	111,872
持分法による投資利益	1,931	102,123
その他	11,990	37,745
営業外収益合計	140,428	256,087
営業外費用		
支払利息	43,753	28,445
支払手数料	—	32,559
為替差損	15,941	—
その他	19,320	12,739
営業外費用合計	79,015	73,743
経常利益	2,906,501	3,921,007
特別利益		
固定資産売却益	690	—
特別利益合計	690	—
特別損失		
固定資産売却損	189	—
固定資産除却損	38,947	1,216
投資有価証券評価損	214,455	—
製品補償損失	40,785	29,400
役員退職特別加算金	—	19,800
特別損失合計	294,378	50,416
税金等調整前四半期純利益	2,612,812	3,870,590
法人税、住民税及び事業税	938,501	1,248,121
法人税等調整額	14,709	72,878
法人税等合計	953,210	1,320,999
少数株主損益調整前四半期純利益	1,659,601	2,549,591
少数株主利益	77,047	77,569
四半期純利益	1,582,554	2,472,021

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,659,601	2,549,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	497,959	1,171,470
為替換算調整勘定	△6,590	282,795
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,214	289,906
その他の包括利益合計	489,153	1,744,172
四半期包括利益	2,148,755	4,293,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,074,571	4,104,380
少数株主に係る四半期包括利益	74,184	189,382

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,895,686	2,109,101	—	14,004,788	—	14,004,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	773,630	—	—	773,630	△773,630	—
計	12,669,316	2,109,101	—	14,778,418	△773,630	14,004,788
セグメント利益	3,381,599	210,095	31,458	3,623,153	△716,652	2,906,501

- (注) 1. セグメント利益の調整額△716,652千円には、セグメント間取引消去△146,422千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△570,229千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州向け(欧州セグメントを構成する持分法適用関連会社向け)、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 「欧州」は、持分法適用関連会社で構成されているため、当該セグメント利益は、持分法投資利益を記載しております。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,479,586	2,407,161	—	15,886,747	—	15,886,747
セグメント間の内部売上高 又は振替高	979,935	—	—	979,935	△979,935	—
計	14,459,521	2,407,161	—	16,866,682	△979,935	15,886,747
セグメント利益	4,368,458	240,734	111,109	4,720,302	△799,295	3,921,007

- (注) 1. セグメント利益の調整額△799,295千円には、セグメント間取引消去△152,467千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△646,827千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州向け(欧州セグメントを構成する持分法適用関連会社向け)、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. 「欧州」は、持分法適用関連会社で構成されているため、当該セグメント利益は、持分法投資利益を記載しております。
4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	減速装置	11,512,554	11.8
	メカトロニクス製品	2,931,308	21.3
北米	減速装置	960,723	3.3
	メカトロニクス製品	466,493	22.6
合計		15,871,079	13.2

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記金額は販売価格により表示し、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別(日本、北米、欧州)に区分しておりますが、欧州セグメントは持分法適用関連会社により構成されており、当該関連会社で生産する製品の販売高は当社グループの販売高には含まれませんので、生産高を表示しておりません。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの生産実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	減速装置	10,899,290	13.0	1,814,132	25.7
	メカトロニクス製品	2,613,888	26.6	406,287	10.4
北米	減速装置	1,547,063	15.7	673,421	13.9
	メカトロニクス製品	861,154	19.5	225,356	25.6
合計		15,921,397	15.6	3,119,197	20.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 当社グループの報告セグメントは、所在地別(日本、北米、欧州)に区分しておりますが、欧州セグメントは持分法適用関連会社により構成されているため、受注高を表示しておりません。なお、欧州市場へ販売する製品に係る受注高は、当該関連会社から日本及び北米セグメントが受注した額をそれぞれのセグメント受注高に計上しております。
 4. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
 5. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの受注実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	減速装置	10,938,671	11.4
	メカトロニクス製品	2,540,914	22.4
北米	減速装置	1,532,858	9.0
	メカトロニクス製品	874,302	24.4
合計		15,886,747	13.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
株式会社羽根田商会	2,067,201	13.0

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
4. 当社グループの報告セグメントは、所在地別(日本、北米、欧州)に区分しておりますが、欧州セグメントは持分法適用関連会社により構成されているため、販売高を表示しておりません。なお、欧州市場への販売高は、日本及び北米セグメントが当該関連会社へ販売した額をそれぞれのセグメント販売高に計上しております。
5. 当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の精密減速機事業を専ら営んでおり、事業の種類別セグメントは単一であります。報告セグメントの製品別内訳を区分表示しております。
6. 磁気応用機器の開発、製造、販売を営んでいる株式会社ウィンベルの販売実績は、メカトロニクス製品に区分、集計し、表示しております。

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)における海外売上高は、次のとおりであります。

	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	1,098,545	2,407,161	1,434,991	4,940,697
II 連結売上高(千円)	—	—	—	15,886,747
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.9	15.2	9.0	31.1

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域
(1) 欧州……ドイツ
(2) 北米……米国
(3) その他の地域……中国、韓国、台湾、オセアニア
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。